

平成20年度
山梨県公立高等学校入学者選抜
に関する意識調査の結果概要

山梨県教育庁新しい学校づくり推進室

平成20年度山梨県公立高等学校入学者選抜に関する意識調査の結果

〔大月短期大学附属高等学校及び甲陵高等学校を除く全日制課程〕

調査の概要

1 調査の目的

平成20年度の入学者選抜について、この制度を経験した高校1年生とその保護者の意見や考えを把握し、今後の入学者選抜の改善のための資料を得ることを目的とする。

2 調査項目

調査項目	
・前期募集についてどう思うか	(問1)
・前期募集についてよいと思う理由	(問2)
・前期募集についてよくないと思う理由	(問3)
・前期募集に出願したか	(問4)
・前期募集へ出願した理由	(問5)
・前期募集で合格内定になったか	(問6)
・前期募集不合格に対する意識	(問7)
・後期募集でどのような学校・学科に出願したか	(問8)
・前期募集・後期募集で別の学科、別の高校に出願した理由	(問9)
・後期募集にのみ出願した理由	(問10)
・「教育方針、志願してほしい生徒像、前期募集選抜方法」についてどう思うか	(問11)
・「前期募集選抜方法」で選抜資料比重を示したが、それについてどう思うか	(問12)
・前期募集の募集率についてどう思うか	(問13)
・高校を決定する上で参考になったものは何か	(問14)

3 調査対象

13,488人〔13,698人〕

全日制県立高校及び市立甲府商業高校の1年生全員 6,744人〔6,849人〕

上記高校1年生の保護者 6,744人〔6,849人〕

4 調査方法

全日制県立高校及び市立甲府商業高校の計30校を通じて実施(全数調査)

5 調査時期

平成20年4月実施

6 回収結果

調査対象	配付数	回収数	回収率
高校1年生	6,744	6,733	99.8%
高校1年生保護者	6,744	6,601	97.9%
合計	13,488 〔13,698〕	13,334 〔13,524〕	98.9% 〔98.7〕

参考

・比率(%)は、各項目ごとに小数点以下第2位で四捨五入しているため、合計が100%にならない場合もある。

・複数回答による項目では、回答者数に対する回答数で比率を算定している。

・【 】内は昨年度数値。

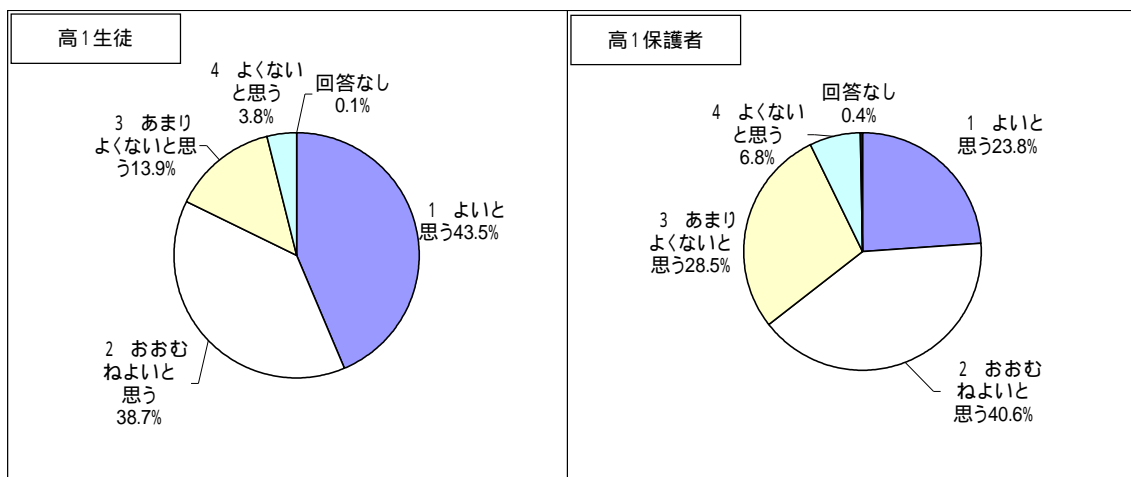
調査結果

問1 すべての人にお聞きします。

平成19年度入学者選抜から従来の「推薦入学」にかわり「自己推薦」による前期募集となりました。この前期募集についてどう思いますか。(つぎの中から1つ選んでください)

- よいと思う
- おおむねよいと思う
- あまりよくないと思う
- よくないと思う

選択肢	高1生徒		高1保護者		合計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
1 よいと思う	2,928	43.5%	1,569	23.8%	4,497	33.7%
2 おおむねよいと思う	2,605	38.7%	2,680	40.6%	5,285	39.6%
3 あまりよくないと思う	939	13.9%	1,881	28.5%	2,820	21.1%
4 よくないと思う	257	3.8%	446	6.8%	703	5.3%
回答なし	4	0.1%	25	0.4%	29	0.2%
計	6,733	100.0%	6,601	100.0%	13,334	100.0%



【今回の調査結果】
前期募集についての意識

全体の傾向

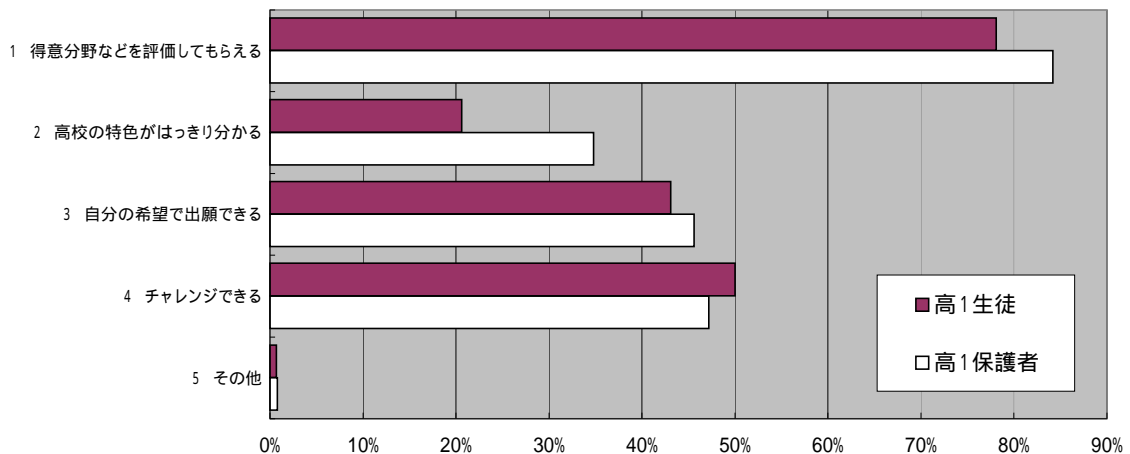
- ・生徒は、82.2% [74.3%] が「よいと思う」、「おおむねよいと思う」と回答した。一方、17.7% [25.5%] が「あまりよくないと思う」、「よくないと思う」と回答した。
- ・保護者は、64.4% [55.7%] が「よいと思う」、「おおむねよいと思う」と回答した。一方、35.3% [44.1%] が「あまりよくないと思う」、「よくないと思う」と回答した。
- ・生徒と保護者を合わせると、全体の73.3% [65.0%] が前期募集に対して肯定的であり、26.4% [34.7%] が否定的であった。

問2 問1で または と(前期募集に肯定的な)回答をした人にお聞きます。
よいと思う理由は何ですか。

(当てはまるものを2つまで答えてください)

- 自分の得意分野や能力、適性、日頃の努力などを評価してもらえる
- 各高校の特色がはっきり分かるようになって、入学したい高校がみつけやすくなった
- 中学校長の推薦によらず、自分の希望で出願できる
- 不合格になっても後期募集があり、入学したい学校にチャレンジできる
- その他

選択肢	高1生徒		高1保護者		合計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1 得意分野などを評価してもらえる	4,319	78.1%	3,150	74.1%	7,469	76.4%
2 高校の特色がはっきり分かる	1,139	20.6%	1,304	30.7%	2,443	25.0%
3 自分の希望で出願できる	2,384	43.1%	1,706	40.2%	4,090	41.8%
4 チャレンジできる	2,768	50.0%	1,768	41.6%	4,536	46.4%
5 その他	39	0.7%	30	0.7%	69	0.7%
回答なし	12	0.2%	16	0.4%	28	0.3%
回答者数	5,533		4,249		9,782	



【今回の調査結果】

肯定的回答をした人の前期募集についてよいと思う理由

全体の傾向

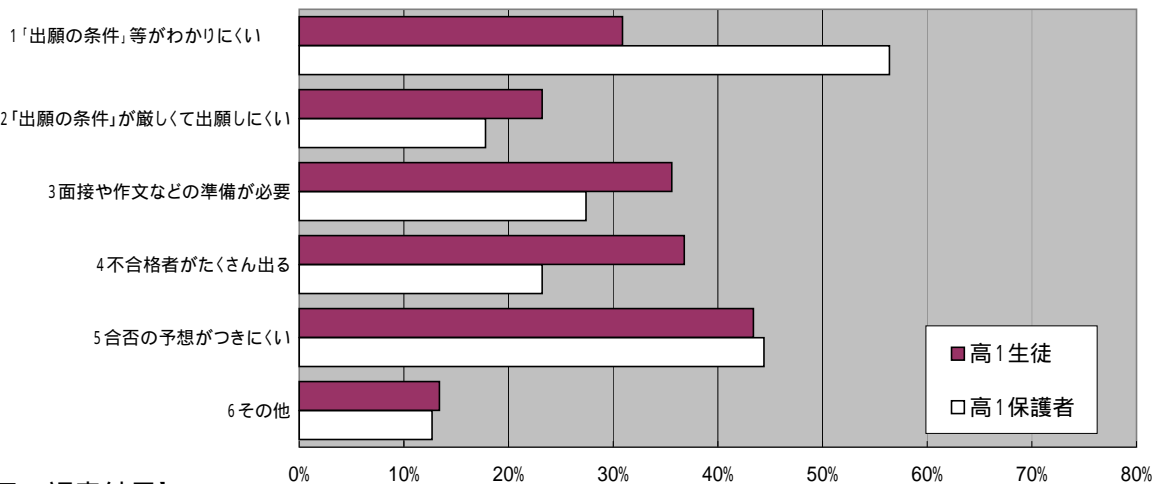
- ・生徒の回答で多かったのは、「得意分野などを評価してもらえる」78.1% [68.7%]、「入学したい学校にチャレンジできる」50.0% [47.2%]であった。
- ・保護者も生徒同様、「得意分野などを評価してもらえる」74.1% [69.5%]、「入学したい学校にチャレンジできる」41.6% [43.1%]であった。
- ・生徒、保護者共に、「得意分野などを評価してもらえる」が他の回答の割合に比べて高かった。

問3 問1で または と(前期募集に否定的な)回答をした人にお聞きます。
 よくないと思う理由は何ですか。

(当てはまるものを2つまで答えてください)

- 高校が示す「志願してほしい生徒像」や「出願の条件」がわかりにくい
- 高校が示す「出願の条件」が厳しくて出願しにくい
- 後期募集の学力検査の準備の他に、面接や作文などの準備が必要である
- 志願者が多いと不合格者がたくさん出る
- 合否の予想がつきにくい
- その他

選択肢	高1生徒		高1保護者		合計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1 出願の条件等がわかりにくい	370	30.9%	1,312	56.4%	1,682	47.7%
2 出願の条件が厳しくて出願しにくい	278	23.2%	415	17.8%	693	19.7%
3 面接や作文などの準備が必要	426	35.6%	638	27.4%	1,064	30.2%
4 不合格者がたくさん出る	440	36.8%	539	23.2%	979	27.8%
5 合否の予想がつきにくい	519	43.4%	1,034	44.4%	1,553	44.1%
6 その他	160	13.4%	295	12.7%	455	12.9%
回答なし	6	0.5%	26	1.1%	32	0.9%
回答者数	1,196		2,327		3,523	



【今回の調査結果】

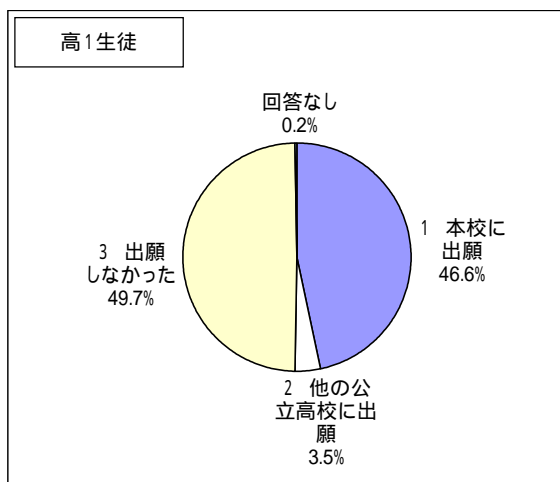
否定的回答をした人の前期募集についてよくないと思う理由

全体の傾向

- ・生徒の回答で多かったのは、「合否の予想がつきにくい」43.4% [49.2%]、「不合格者がたくさん出る」36.8% [44.2%]、「面接や作文などの準備が必要」35.6% [28.7%]であった。
- ・保護者の回答で多かったのは、「出願の条件等がわかりにくい」56.4% [57.9%]、「合否の予想がつきにくい」44.4% [44.0%]、「面接や作文などの準備が必要」27.4% [21.9%]であった。
- ・昨年度に比べ、否定的な回答の割合が平準化しているが、「出願の条件等がわかりにくい」については、保護者の回答が生徒に比べ特に高かった。

問4 すべての人にお聞きします。
 あなたは、前期募集に出願しましたか。
 (つぎの中から1つ選んでください)
 本校に出願した
 他の公立高校に出願した
 出願しなかった

選択肢	高1生徒	
	人数	比率
1 本校に出願	3,137	46.6%
2 他の公立高校に出願	239	3.5%
3 出願しなかった	3,343	49.7%
回答なし	14	0.2%
計	6,733	100.0%



【今回の調査結果】
 前期募集への出願の割合

全体の傾向

・生徒の50.1% [64.0%] が前期募集に出願した。入学した高校とは別の高校の前期募集に出願した人は、3.5% [6.3%] であった。

問5 問4で または (前期募集に願した)と回答した人にお聞きます。

あなたが、前期募集に願した理由は何ですか。

(当てはまるものを2つまで教えてください)

どうしても入学したい学校・学科(コース)だったから

受検機会を最大限生かそうと思ったから

入学したい高校の「出願条件」などが自分に当てはまり、得意なことが生かせると思ったから

前期募集の募集人員が従来の推薦入試に比べ増えたから

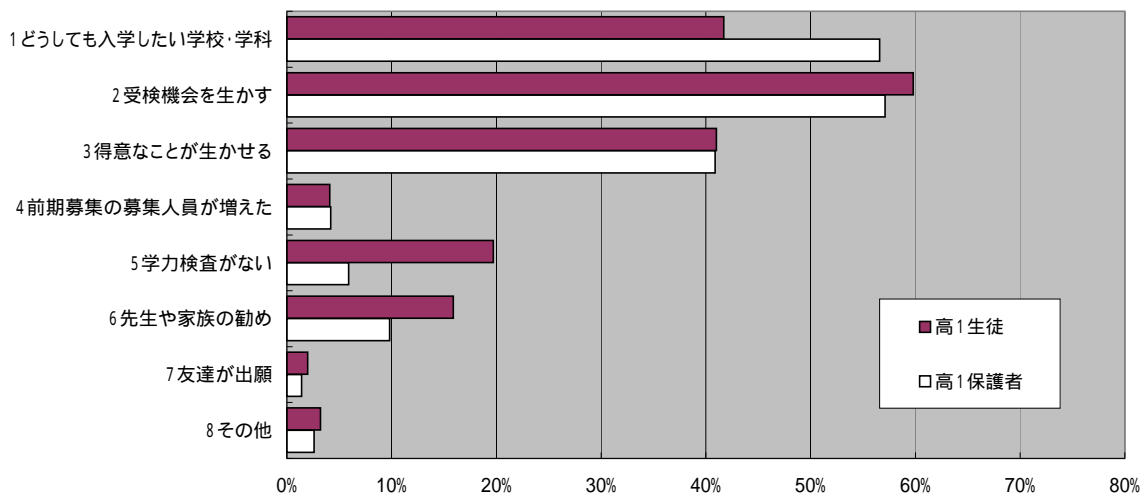
学力検査がないから

先生や家族に勧められたから

友達が出願するから

その他

選択肢	高1生徒		高1保護者		合計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1 どうしても入学したい学校・学科	1,407	41.7%	1,893	56.6%	3,300	49.1%
2 受検機会を生かす	2,020	59.8%	1,909	57.1%	3,929	58.4%
3 得意なことが生かせる	1,385	41.0%	1,367	40.9%	2,752	40.9%
4 前期募集の募集人員が増えた	139	4.1%	141	4.2%	280	4.2%
5 学力検査がない	666	19.7%	199	5.9%	865	12.9%
6 先生や家族の勧め	536	15.9%	327	9.8%	863	12.8%
7 友達が出願	68	2.0%	47	1.4%	115	1.7%
8 その他	109	3.2%	87	2.6%	196	2.9%
回答なし	7	0.2%	19	0.6%	26	0.4%
回答者数	3,376		3,346		6,722	



【今回の調査結果】

前期募集への出願理由

全体の傾向

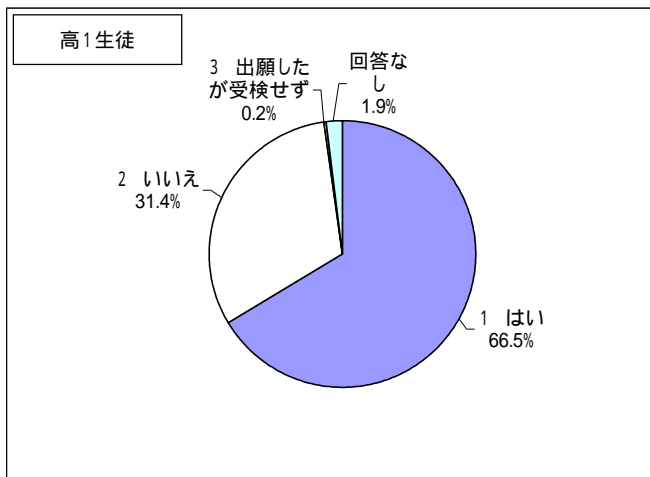
・生徒の回答で多かったのは、「受検機会を生かす」59.8% [57.3%]、次いで、「どうしても入学したい学校・学科だった」41.7% [47.6%]、「得意なことが生かせる」41.0% [39.0%]であった。また、保護者に比べて「学力検査がない」、「先生や家族に勧められた」と回答した割合も高かった。

・保護者では、「受検機会を生かす」が57.1% [59.4%]と最も高く、次いで「どうしても入学したい学校・学科だった」56.6% [55.4%]、「得意なことが生かせる」40.9% [38.1%]であった。生徒に比べて「どうしても入学したい学校・学科だった」と回答した割合が高かった。

問6 問4で または（前期募集に願した）と回答した人にお聞きます。
 前期募集で合格内定になりましたか。
 （つぎの中から1つ選んでください）

- はい
- いいえ
- 願したが受検しなかった

選択肢	高1生徒	
	人数	比率
1 はい	2,244	66.5%
2 いいえ	1,060	31.4%
3 願したが受検せず	8	0.2%
回答なし	64	1.9%
計	3,376	100.0%



【今回の調査結果】

前期募集における合格内定者の割合

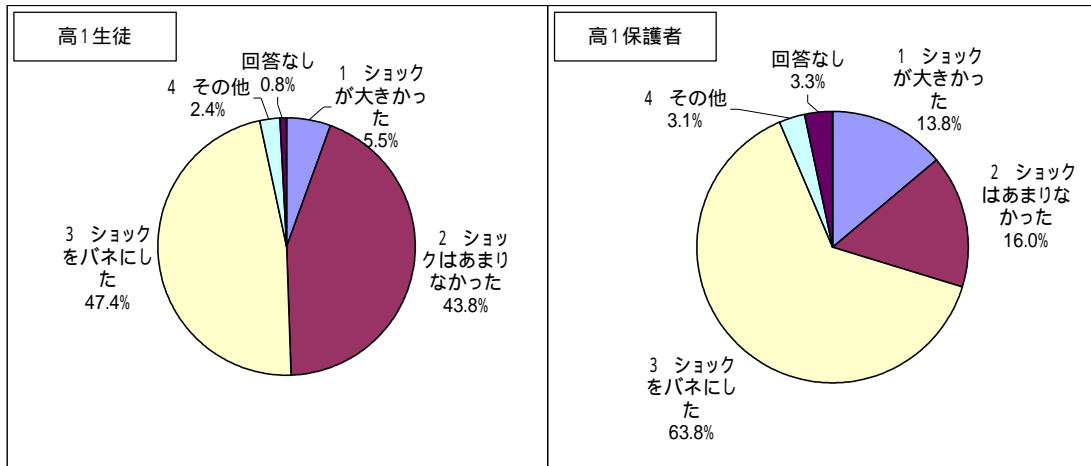
全体の傾向

- ・前期募集に願した生徒のうち、66.5%【53.1%】が前期募集で内定となった。一方、31.4%【45.3%】の生徒は前期募集で内定とならなかったと回答した。
- ・昨年度数値に比べて、前期募集への出願率は減少（問4調査結果）し、内定率は上昇している。

問7 問6で（前期募集で合格内定とならなかった）と回答した人にお聞きます。
 前期募集で合格内定にならなかったことに、どんな感想を持ちましたか。
 （つぎの中から1つ選んでください）

- ショックが大きく、その後の学習や学校選択に支障をきたした
- ショックはあまりなかった
- ショックはあったがそれをバネにして学習に取り組んだ
- その他

選択肢	高1生徒		高1保護者		合計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
1 ショックが大きかった	59	5.5%	144	13.8%	203	9.6%
2 ショックはあまりなかった	466	43.8%	167	16.0%	633	30.0%
3 ショックをバネにした	504	47.4%	667	63.8%	1,171	55.5%
4 その他	26	2.4%	32	3.1%	58	2.8%
回答なし	9	0.8%	35	3.3%	44	2.1%
計	1,064	100.0%	1,045	100.0%	2,109	100.0%



【今回の調査結果】
 前期募集不合格の意識

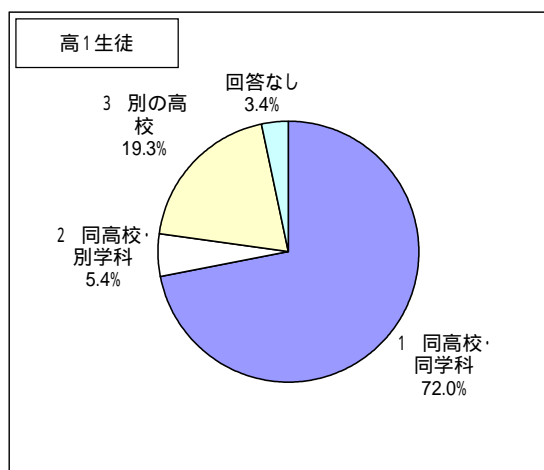
全体の傾向

- ・生徒の43.8% [43.2%] が「ショックはあまりなかった」、47.4% [45.3%] が「ショックをバネにした」と回答した。一方、「ショックが大きくその後の学習や学校選択に支障をきたした」と回答した人は、5.5% [8.5%] であった。
- ・保護者の16.0% [18.5%] が「ショックはあまりなかった」、63.8% [60.1%] が「ショックをバネにした」と回答した。一方、「ショックが大きくその後の学習や学校選択に支障をきたした」と回答した人は、13.8% [17.2%] であった。

問8 問6で（前期募集で合格内定とならなかった）と回答した人にお聞きます。
後期募集ではどのような学校・学科に出願しましたか。
(つぎの中から1つ選んでください)

- 前期募集で出願した高校と同じ高校の同じ学科(コース)
- 前期募集で出願した高校と同じ高校の別の学科(コース)
- 前期募集で出願した高校とは別の高校

選択肢	高1生徒	
	人数	比率
1 同高校・同学科	766	72.0%
2 同高校・別学科	57	5.4%
3 別の高校	205	19.3%
回答なし	36	3.4%
計	1,064	100.0%



【今回の調査結果】

前期募集不合格者の後期募集の出願先

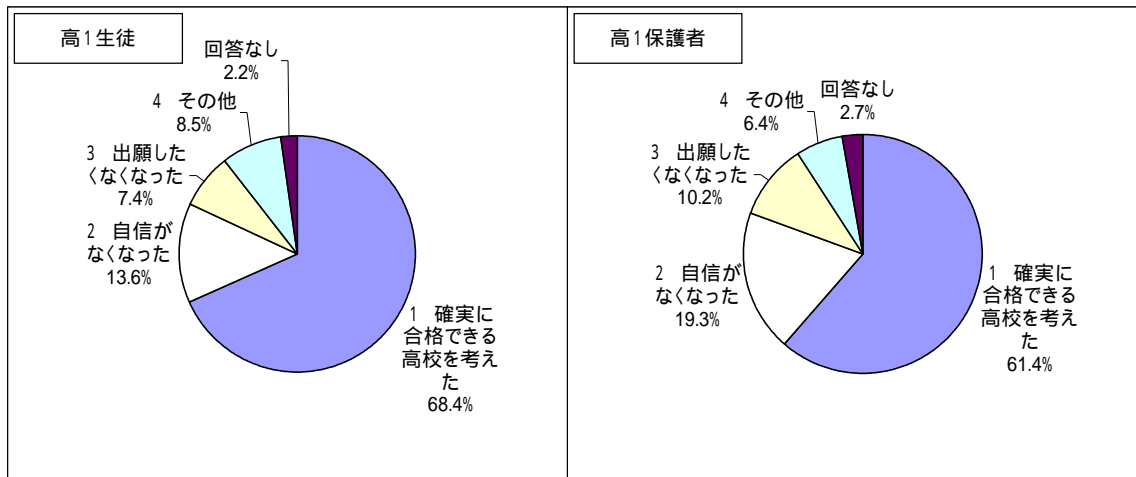
全体の傾向

・生徒の77.4% [73.1%] が同一の高校へ出願した。前期とは別の学科に出願した人は5.4% [3.8%]、別の高校へ出願した人は19.3% [16.8%] であった。

問9 問8で または（後期募集で前期と異なる学校・学科に出願した）と回答した人にお聞きします。あなたが、前期募集・後期募集で別の学科又は別の高校に出願した理由は何ですか。（つぎの中から1つ選んでください）

前期募集では可能性にかけ、後期募集では確実に合格できる高校・学科を考えたから
 前期募集で合格内定とならなかったため、同じ学科、同じ高校に出願する自信がなくなったから
 前期募集で合格内定とならなかった学科・高校に、出願したくなったから
 その他

選択肢	高1生徒		高1保護者		合計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
1 確実に合格できる高校を考えた	186	68.4%	162	61.4%	348	64.9%
2 自信がなくなった	37	13.6%	51	19.3%	88	16.4%
3 出願したくなった	20	7.4%	27	10.2%	47	8.8%
4 その他	23	8.5%	17	6.4%	40	7.5%
回答なし	6	2.2%	7	2.7%	13	2.4%
計	272	100.0%	264	100.0%	536	100.0%



【今回の調査結果】

前期募集・後期募集で別の学科、別の高校に出願した理由

全体の傾向

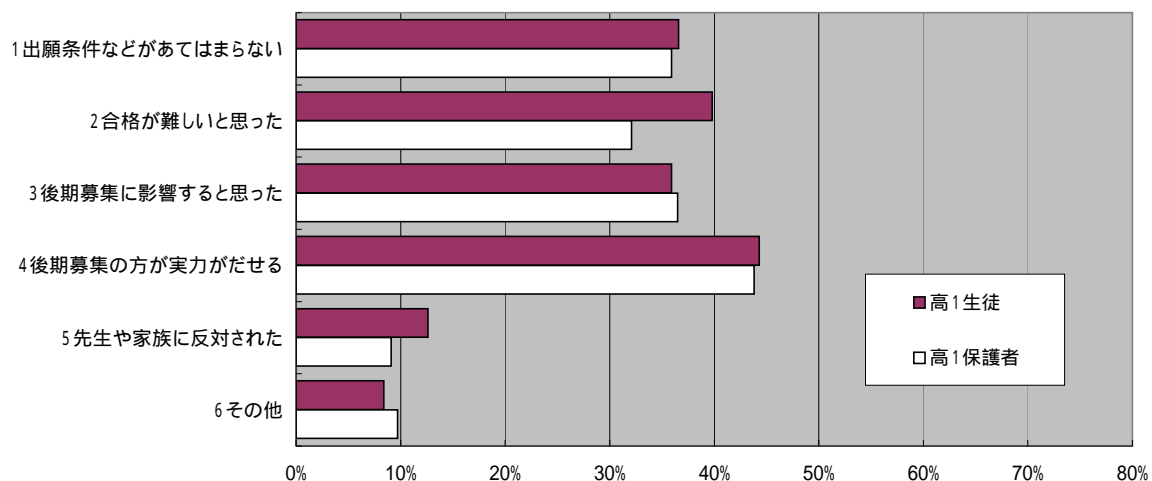
- ・生徒の68.4% [64.5%] が「確実に合格できる高校を考えた」と回答した。
- ・保護者も、61.4% [60.9%] が「確実に合格できる高校を考えた」とする回答が最も多かった。

問10 問4で（前期募集に出願しないで、後期募集のみに出願した）と回答した人にお聞きします。あなたが、前期募集に出願しないで、後期募集のみに出願した理由は何ですか。

（当てはまるものを2つまで教えてください）

- 入学したい高校の「前期募集の出願条件」などが自分に当てはまらないと思ったから
- 前期募集は倍率が高くなりそうで、合格が難しいと思ったから
- 万一、不合格になるとショックが大きく、後期募集に影響すると思ったから
- 後期募集（学力検査）の方が実力を発揮できると思ったから
- 先生や家族に反対されたから
- その他

選択肢	高1生徒		高1保護者		合計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1 出願条件などがあてはまらない	1,224	36.6%	1,160	35.9%	2,384	36.2%
2 合格が難しいと思った	1,331	39.8%	1,037	32.1%	2,368	36.0%
3 後期募集に影響すると思った	1,201	35.9%	1,182	36.5%	2,383	36.2%
4 後期募集の方が実力がだせる	1,482	44.3%	1,417	43.8%	2,899	44.1%
5 先生や家族に反対された	420	12.6%	293	9.1%	713	10.8%
6 その他	282	8.4%	315	9.7%	597	9.1%
回答なし	141	4.2%	96	3.0%	237	3.6%
回答者数	3,343		3,235		6,578	



【今回の調査結果】

後期募集にのみ出願した理由

全体の傾向

・生徒の回答で多かったのは、「後期募集の方が実力が出せる」44.3% [41.8%]、「出願条件などがあてはまらない」36.6% [36.5%]、「後期募集に影響すると思った」35.9% [35.2%]であった。「合格が難しいと思った」は39.8% [49.8%]であった。

・保護者の回答で多かったのは、「後期募集の方が実力が出せる」43.8% [43.0%]、次いで「後期募集に影響すると思った」36.5% [32.0%]であった。「出願条件などがあてはまらないと思った」は35.9% [44.3%]、「合格が難しいと思った」は32.1% [36.2%]であった。

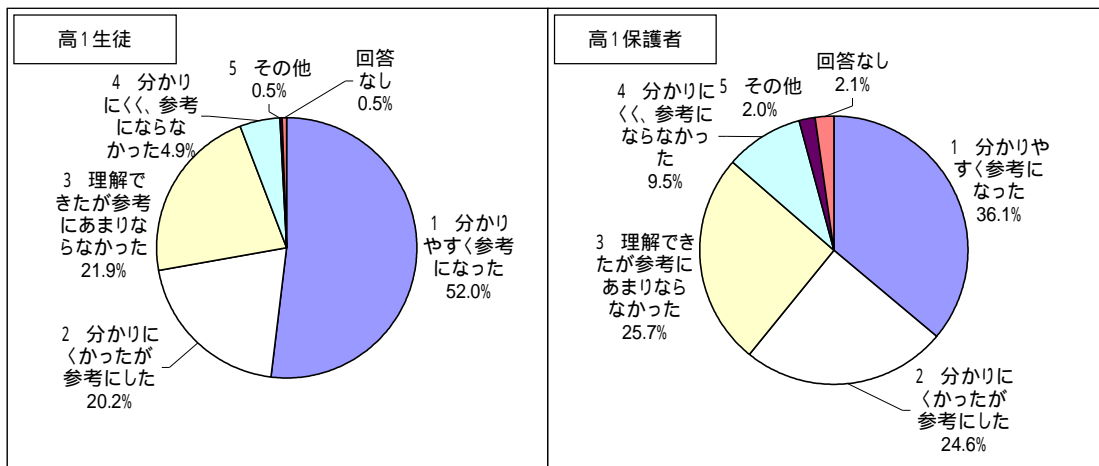
問11 すべての人にお聞きします。

各高校が示した「教育方針、志願してほしい生徒像、前期募集選抜方法」についてどう思いますか。

(つぎの中から1つ選んでください)

- 1 とても分かりやすく、志望校決定の参考になった
- 2 分かりにくかったが、志望校決定の参考にした
- 3 理解できたが、参考にあまりならなかった
- 4 分かりにくく、参考にならなかった
- 5 その他

選択肢	高1生徒		高1保護者		合計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
1 分かりやすく参考になった	3,503	52.0%	2,382	36.1%	5,885	44.1%
2 分かりにくかったが参考にした	1,357	20.2%	1,625	24.6%	2,982	22.4%
3 理解できたが参考にあまりならなかった	1,477	21.9%	1,694	25.7%	3,171	23.8%
4 分かりにくく、参考にならなかった	331	4.9%	629	9.5%	960	7.2%
5 その他	32	0.5%	130	2.0%	162	1.2%
回答なし	33	0.5%	141	2.1%	174	1.3%
計	6,733	100.0%	6,601	100.0%	13,334	100.0%



【今回の調査結果】

「教育方針、志願してほしい生徒像、前期募集選抜方法」について

全体の傾向

- ・「分かりやすく参考になった」と回答した生徒は52.0% [44.7%]、保護者36.1% [26.3%]で、全体の44.1% [35.5%]となり、最も回答が多かった。
- ・「分かりやすく参考になった」と「分かりにくかったが参考にした」を合わせると、生徒が72.2% [69.5%]、保護者が60.7% [58.7%]で、全体の66.5% [64.1%]が何らかの形で志望校決定の参考にした。
- ・一方、「理解できたが参考にあまりならなかった」と「分かりにくく、参考にならなかった」は、合わせて生徒26.8% [29.4%]、保護者35.2% [37.3%]であった。

問12 すべての人にお聞きします。

各高校が示した「前期募集選抜方法」では調査書、面接等選抜資料の比重を示しましたが、それについてどう思いますか。

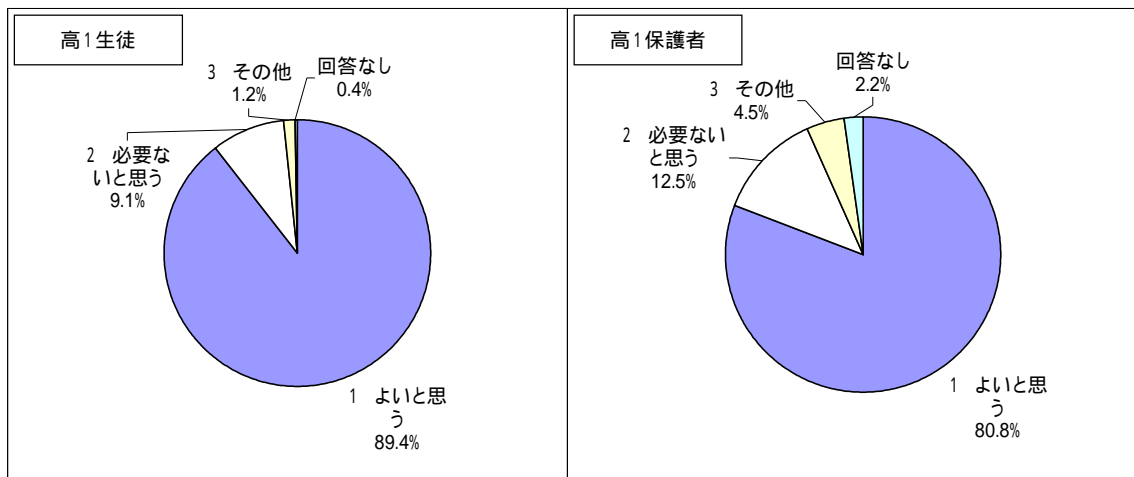
(つぎの中から1つ選んでください)

よいと思う

必要ないと思う

その他

選択肢	高1生徒		高1保護者		合計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
1 よいと思う	6,017	89.4%	5,333	80.8%	11,350	85.1%
2 必要ないと思う	612	9.1%	823	12.5%	1,435	10.8%
3 その他	78	1.2%	297	4.5%	375	2.8%
回答なし	26	0.4%	148	2.2%	174	1.3%
計	6,733	100.0%	6,601	100.0%	13,334	100.0%



【今回の調査結果】

「前期募集選抜方法」で示した選抜資料比重について

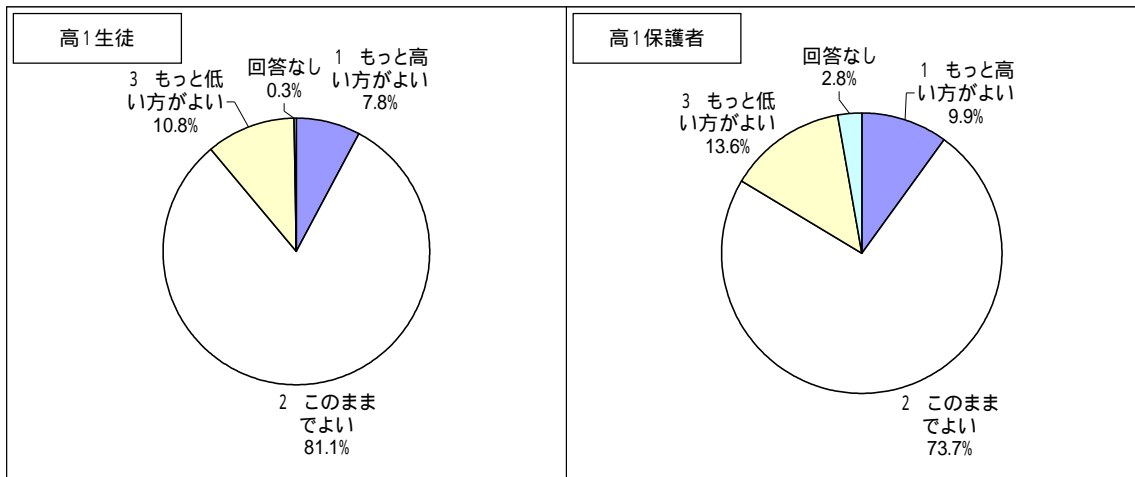
全体の傾向

調査書、面接、作文、特技、個性表現をどの程度重視するのか、その比重を事前に示したが、生徒の89.4% [52.5%]、保護者の80.8% [42.2%]が「よいと思う」と回答し、「必要ないと思う」と回答したのは生徒が9.1% [3.6%]、保護者が12.5% [6.4%]であった。

昨年度と比べ、一部回答の選択肢に変更がある。

問13 すべての人にお聞きします。
 あなたが入学した学科の前期募集の募集率についてどう思いますか。
 (つぎの中から1つ選んでください)
 もっと高い方がよい
 このままでよい
 もっと低い方がよい

選択肢	高1生徒		高1保護者		合計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
1 もっと高い方がよい	526	7.8%	656	9.9%	1,182	8.9%
2 このままでよい	5,459	81.1%	4,863	73.7%	10,322	77.4%
3 もっと低い方がよい	725	10.8%	897	13.6%	1,622	12.2%
回答なし	23	0.3%	185	2.8%	208	1.6%
計	6,733	100.0%	6,601	100.0%	13,334	100.0%



[今回の調査結果]
 前期募集の募集率について

全体の傾向

- ・生徒の81.1% [75.9%]、保護者の73.7% [67.9%]が「このままでよい」と回答した。
- ・募集率については、「もっと低い方がよい」生徒 10.8% [14.3%]、保護者13.6% [18.0%]、「もっと高い方がよい」生徒7.8% [9.1%]、保護者9.9% [11.5%]であった。

問14 すべての人にお聞きします。

受検する高校を決定する上で、最も参考になったのはどれですか。

(当てはまるものを2つまで教えてください)

オープンスクール(体験入学)

高校のホームページ

高校のパンフレット

「山梨ハイスクールガイド」

「教育方針、志願してほしい生徒像、前期募集選抜方法」

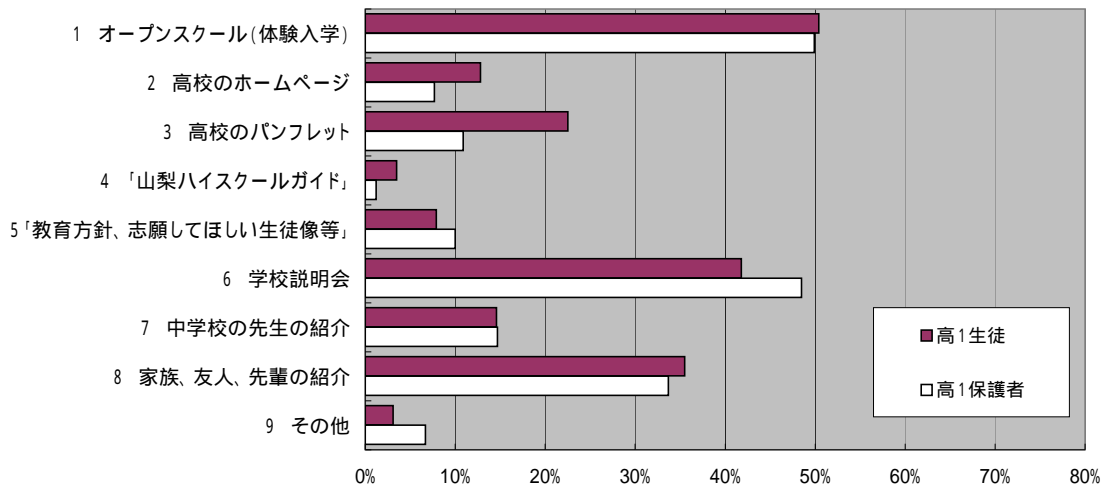
学校説明会

中学校の先生の紹介

家族、友人、先輩の紹介

その他

選択肢	高1生徒		高1保護者		合計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1 オープンスクール(体験入学)	3,393	50.4%	3,295	49.9%	6,688	50.2%
2 高校のホームページ	863	12.8%	507	7.7%	1,370	10.3%
3 高校のパンフレット	1,515	22.5%	722	10.9%	2,237	16.8%
4 「山梨ハイスクールガイド」	236	3.5%	79	1.2%	315	2.4%
5 「教育方針、志願してほしい生徒像等」	533	7.9%	657	10.0%	1,190	8.9%
6 学校説明会	2,816	41.8%	3,201	48.5%	6,017	45.1%
7 中学校の先生の紹介	984	14.6%	971	14.7%	1,955	14.7%
8 家族、友人、先輩の紹介	2,387	35.5%	2,222	33.7%	4,609	34.6%
9 その他	208	3.1%	444	6.7%	652	4.9%
回答なし	24	0.4%	84	1.3%	108	0.8%
回答者数	6,733		6,601		13,334	



【今回の調査結果】

高校を決定する上での参考資料、要因など

全体の傾向

- ・生徒の回答で多かったのは、「オープンスクール」50.4% [47.0%]、次いで「学校説明会」41.8% [44.2%]、「家族、友人、先輩の紹介」35.5% [33.2%]、「高校のパンフレット」22.5% [22.5%]であった。
- ・保護者の回答で多かったのは、「オープンスクール」49.9% [45.4%]、「学校説明会」48.5% [50.1%]、「家族、友人、先輩の紹介」33.7% [31.7%]であった。
- ・生徒、保護者とも、各高校が実施している「体験入学」や「学校説明会」が志願先を決定する際に参考にされている割合が高く、次に「家族、友人、先輩の紹介」となっている。